

ILS 市場の動向と今後の戦略

ハイリターン、分散化の魅力で順調に拡大

レデンホール・キャピタル・パートナーズ ウェルズ会長、ヴォルピ氏に聞く

近年、自然災害等の保険でカバーされるリスクを資本市場へ転嫁する保険リンク証券（Insured Securities・ILS）市場が活況となっている。伝統的な資産との相関が低く、また、昨今の低金利環境下でリターンが相対的に高いことから、年金基金等からの投資が世界的に急増している。こうした中、MS&AD グループのMSアムリン社の子会社であるレデンホール・キャピタル・パートナーズ社は、ILS への投資を専門に行う大手ファンド運用会社として、世界の年金基金などの機関投資家向けに商品を提供している。MSアムリンの親会社である三井住友海上は、同社を戦略的に重要な子会社として位置付けており、同社の日本での事業拡大をサポートしている。同社の共同創業者のジョン・ウェルズ会長と営業部門代表のロレンツォ・ヴォルピ氏にILS 市場の動向と今後の戦略について聞いた。

——貴社の事業概要について。

——貴社の事業概要について。

ウェルズ 当社は、英国・ロンドンを本拠地としているILS投資専門

の運用会社で、MSアムリンとのジョイントベンチャーかつ75%子会社として2008年に設立された。主な顧客は英国、



ヴォルピ氏(左)とウェルズ氏

米国、日本、スイス、オーストラリアなどの金融機関や年金基金などの機関投資家で、現在、顧客からの預かり資産は約5700億円に上る。

——ILS 市場の現状

ウェルズ 18 年 6 月時点

で、ILS の市場規模は約11兆円で、順調に拡大している。そのうちの約3兆円がキャットボンドで安定的に増えているが、現在、担保付再保険の利用が最も伸びている。

従来、株や債券への投資を中心とした一般的な投資家は、保険や再保険のリスクにはアクセスできなかったが、そうした投資家にILSを通じて保険リスクに対する投資機会を提供するのが当社の一つの存在価値であり、とりわけ米国のハリケーンや地震など、リスク対比でリターンが魅力的な案件に投資する商品の提

供にフォーカスしている。

ヴォルピ 昨年は米国

のハリケーンをはじめ、大規模自然災害が頻発した年で、通常、これだけ大きな災害が次々と発生

した翌年の再保険料率は30%、40%、50%と上昇するものだが、近年の継続的な資本の流入によってキャパシティが供給過剰になっており、料率が以前ほど上がっていない。また、キャットボンドの対象は米国のハリケーンや地震、日本の台風などが中心だが、最近では、米国の洪水など新たなベリルを対象とした証券も発行されている。

——貴社の特色や強みは。

ウェルズ ILS 専門の運用会社は通常、3タイプに分かれている。完全に独立した運用会社は、投資判断に元受保険会社や再保険会社の影響を受けない半面、保険リ

スクの分析能力が十分でなかったり、案件発掘能力に欠けたりすることがある。一方で、元受保険会社や再保険会社との関係が密接な運用会社だと、意思決定にそうした

会社の影響が及び、利益相反が生じる恐れがある。私たちは、独立した投資判断と、運用委託を受けている顧客の利益に合致すると信ずる意思決定を行っており、利益相反が生じない仕組みを構築している。他方で当社は、MSアムリンと連携することにより、引受や保険金請求、市場状況などに関する最新の情報を入手することができ、そうした判断材料を参考にベストな意思決定を行えることが強みとなっている。

ヴォルピ 当社は、経験豊富で保険リスクに関する専門能力の高い運用担当者がそろっているのが大きな特長だ。また、

直接あるいはMSアムリンのネットワークを活用して発掘した、再保険案件を中心にグローバルに投資しており、同社の豊富な保険引受ノウハウも活用することができる。

私たちにとって同社とのつながりは非常に重要であり、日本での事業を含め今後もこのパートナーシップを発展させていければと考えている。

——今後の事業展開について。

ウェルズ 現在、当社の運用残高約5700億円のうち、約6割が損保リスクの再保険やキャットボンドに投資し、残りが生保リスクへの投資だが、2〜3年のうちに運用額をそれぞれ2倍にしたいと考えている。日本の投資家からのより大きな投資を期待しているが、計画を実現するため、計画を実現するため、の大きな原動力として、現在、すでにメジャーな機関投資家になっている。

世界の年金基金がある。彼らのような機関投資家にとって、運用資産の分散化は大きな魅力であり、今後も投資が拡大していくと思っている。昨

年は、米国でハービー・イルマ、マリアといったハリケーンの巨大災害が発生したが、投資家たちはそうした経験を踏まえて、リターンの源泉にはリスクがあるということも理解してきている。

ヴォルピ ILS 市場には、相対的に魅力的なリターンや分散投資といったメリットがある中で、日本の投資家の方々も、ぜひ当社を活用していただければと考えており、長期的な関係を築いていけることを願っている。その戦略の一環として最近、ILS 市場での経験が豊富な専門担当者を日本に置き、オンタイムのきめ細かいサポートを提供できる体制を整えている。